

[002] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9838>

出版情報：中国文学論集. 2, 1971-05-01. The Chinese Literature Association, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

編集後記

昨年の春、まだ学園紛争の余蘆がただよなかに、研究室の新たな学問的態勢の確立をめざして、「中国文学論集」を創刊したが、それから早くも一年経過し、ふたたびまた若葉の目にしみる好時節を迎え、ここに順調に第二号を上梓することができた。ひとえに、岡村先生を中心とする研究室の先輩後輩の御協力の結果であり、感謝にたえない。昨年創刊号をお届けした折には、全国各地から今後を期待する旨のはげましの書信を数多くいただき、われわれは大変勇気づけられたが、はたして本号の内容がそれに答えることができたかどうか心配である。執筆者紹介を見ればわかるように、論文は今回も若手が多く筆をとっている。未熟な点は多々あると思うが、その清新な感覚と意欲に期待していただくことにしたい。また書評は、林田慎之助氏に健筆をふるっていただいたが、創刊以来の本誌の一つの特徴として、これからも書評は重視していきたいと思う。

いま学内は全く静穏そのものであり、教官も学生もみなその静かな学問的環境をむさぼるように日夜もくもくと研究に励んでいる。またこの論集の母体である中国文芸座談会も定期的に隔月開かれ、卒業生諸氏をはじめ近在の大学からもたえず同様の士が参加して、熱心な発表・討論が行なわれている。今後このよい伝統を守り、先輩後輩が協力一致して、「中国文学論集」をいよいよ発展させていきたいと思う。

なお、この論集の編集を担当していた私は、今度東海地方に転出することになり、四月から篤学の安東俊六氏と交替する。私同様、皆さんの暖かい御支援を切にお願い申し上げます。

(合山 究記)

○第三号原稿募集

昭和四十六年十月三十一日まで
四百字詰原稿用紙四十枚程度

中国文学論集

第二号

(中国文芸座談会ノート通算十九号)

昭和四十六年四月二十日 印刷
昭和四十六年五月 一日 発行

編集兼
発行者

福岡市箱崎 九州大学文学部内

九州大学中国文学会

代表者 岡村 繁

振替口座 福岡三三五〇七番

福岡市舞鶴二丁目五番六号

印刷所

川島弘文社

代表者 川島道昭